

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

中田しらゆり地域は、古くから地域活動が活発な地域です。長後街道の沿線は平成11年の市営地下鉄開通と長後街道の拡張工事により都心への通勤圏となり、子育て世代など若い新住民が増加しています。それにあわせて子育て支援の需要が増加し、また新住民が町内会をはじめとした地域組織にいかにもスムーズに溶け込むことが出来るかが課題となっています。一方で葛野地区周辺やしらゆり地区など幹線道路から遠い地域は、高齢化が進んでいます。特にしらゆり地域は団地を除いて泉区で一番高齢化が進んでおり、また坂が多く閉じこもりやすい地形ということもあり、介護予防や支援が必要な高齢者の早期発見が課題です。
 中田地区で地域福祉推進委員会が、しらゆり地区でしらゆり助っ人隊(SST)が組織されるなど、地域の高齢者に対する生活支援活動が活発になっています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現在運営してるWEBサイト「中田白百合地域情報サイト」をリニューアルしスマートフォンに対応する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年度試験的に行っていたしらゆり地区の食事会等への送迎支援を、近隣の社会福祉法人等の事業所が連携して事業化する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザ全職員を対象とした研修を年3回実施する。その内1回については人権研修を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアマネ連絡会で『泉区民児協から民生委員の役割とケアマネジャーとの連携を深めるために』講演を実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎月6職種会議を実施し、地域活動交流、生活支援コーディネーター、地域包括との情報共有を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

しらゆり地区の高齢者食事会「しらゆり会」「あやめ会」への送迎支援を近隣の福祉事業所と連携して事業化することができました。職員を対象とした研修や会議はすべて計画通り実施することができました。
 WEBサイトのリニューアルについては、本年度は見送りました。

区からのコメント

(地域活動交流)
 ・WEBサイトによる情報発信は踊場CPの特徴、強みなので、今年度見送ったサイトのリニューアルを次年度は実施することにより、さらに効果的な情報発信が行われることを期待します。
 ・内部研修等で共有できた情報等を活かしながら、支援の必要性に応じた職種間の連携をさらに進めていただければと思います。

(地域包括支援センター)
 ・ケアマネジャーや民生委員、医療機関や介護関係事業所等、様々な地域資源と連携しネットワーク構築に努めました。個別ケース対応についても、必要に応じて区と相談しながら丁寧に対応しています。
 ・「男の料理教室」など、男性の地域への参加を促す取組も特徴的です。今後も、地域の課題に応じた各事業の取組を、区も一緒に検討していきたいと思っています。

(生活支援体制整備事業)
 ・社会福祉法人との連携により、食事会等の移動支援を安定して行うことができ、社会資源の拡充につながっています。地域住民向けのアンケートの実施により、詳細なニーズ把握ができるため、今後の地域支援の方向性について一緒に考えていければと思います。
 ・エリア内にあるサービスBの2団体は、それぞれ特色や方向性が異なるため、個別性に合わせた支援が必要になると思います。今年度から開催している各団体とCP、区での振り返りや、近隣自治会やCM、相談者へのPR等を継続していただき、サービスBの活動継続に向けて、団体・CP・区それぞれができることを一緒に検討していきたいと思っています。